

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">心理学</p>	<p>対象学科・学年 薬学部薬学1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">中尾 将大</p>
<p>授業テーマ</p> <p>心理学と他領域との関わりを通じて学際的学問としての心理学の可能性を学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>我々ヒトを含む生活体はあらゆる刺激が混在する環境下に置かれている。あるものはその中でうまく適応し、あるものは不適応をおこす。本講義では「行動の原理」を生み出した学習心理学を中心にすえ、「環境への適応・不適応」行動の研究を主軸として他分野との関連研究を紹介する。心理学の持つ、学際性と可能性を知って欲しい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席、期末テストおよびレポートによる総合評価</p>		
<p>テキスト</p> <p>内容に合わせてプリントを配布</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>学習の心理学 その他、随時紹介していく予定</p>	<p>著者 今田寛</p>	<p>出版社 培風館</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション —授業の説明— 2. 学習心理学の概要 —学習心理学の歴史と理論的背景— 3. 行動主義心理学とは —心理学は行動の科学である— 4. 行動の理論（1） —古典的条件づけ— 5. 行動の理論（2） —オペラント条件づけ— 6. 環境への適応（1） —刺激間の関係— 7. 環境への適応（2） —信号の持つ信憑性— 8. 環境への不適応（1） —学習性絶望「もう何をしてもアカンわ・・・。」— 9. 環境への不適応（2） —過労のモデル研究— 10. 環境への不適応（3） —ランナーズハイ、運動依存— 11. 学習心理学から行動科学へ —時代は行動科学（Behavior Science）— 12. 医科学分野との関連 —心理学との関連分野の紹介— 13. ヒトの適応と不適応（1） —ストレス評価とマネジメント— 14. ヒトの適応と不適応（2） —行動療法— 15. まとめと試験 		